

# 川内原発 60年運転認可

## 規制委 「1年慎重に審査した」

原子力規制委員会は1日、運転開始40年が近づくと九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県）の運転期間を20年延長し、60年の運転

を認可した。認可は関西電力高浜1、2号機、美浜3号機（いずれも福井県）、日本原子力発電東海第2（茨城県）に続き5、6基目。

5人の委員全員が認可に賛成した。山中伸介委員長は記者会見で「新しい技術論点はなかったが、慎重に1年間審査した」と述べた。

川内1号機は2024年7月、2号機は25年11月に運転開始40年となる。東京電力福島第1原発事故を受け、原発の運転期間は原則40年、認可を受ければ最長60年となったが、今年5月に60年を超える運転を可能

にする法律が成立した。認可を受けた原発も、25年6月の法施行までに改めて規制委の審査を受ける必要がある。

規制委庁舎で認可書を受け取った九州電原子力発電本部長の林田道生副本部長は、60年超運転を目指すかどうかについて「60年に達する時点で、燃料の世界的情勢や技術的視点などを含めて検討する」と明言を避けた。